

① “こころ” と “からだ”					四天王寺大学特別公開講座	日曜日【1限目】 10:30~12:00
内容	“病は気から”といわれますが、“こころ”と“からだ”のつながりには興味深いものがあります。“こころ”、“からだ”そして“こころ”と“からだ”の関係について、さまざまな領域の先生方のお話に耳を傾けてみませんか。					
1	5/8	こころとからだと関係性-依存症とその支援-	7	6/19	100歳長寿の秘訣から心身の健康を考える	
2	5/15	老いのこころと高齢社会	8	6/26	ヨガで体験しよう!-“こころ”と“からだ”のつながり-	
3	5/22	地域で支える高齢社会-“認知症”-	9	7/3	病気になるない“こころ”	
4	5/29	東洋医学的にみた加齢	10	7/10	カラマヅックであなたを表現!	
5	6/5	あなたのからだ、思い通りに動かせますか?	11	7/17	加護に導かれる菩薩の世界-身体健全(自利の意識)-	
6	6/12	脳の若さと健康を考える	12	7/31	教えに導かれる菩薩の世界-心願成就(利他の意識)-	

②河内源氏発祥の地・羽曳野を知る					日曜日【2限目】 13:00~14:30
内容	羽曳野市の歴史遺産である河内源氏について、専門家を招き学んでいただきます。新たな魅力やその活用方法を考えます。 ※第3講義の詳細は受講手続時にお知らせします。				
1	5/8	河内源氏～頼朝を生んだ武士本流	7	6/19	河内源氏と京・鎌倉
2	5/15	郷土史家・故高木保生氏の語った源氏三代	8	6/26	武家の棟梁の条件
3	5/22	現地講義：源頼朝の祖・河内源氏三代を訪ねる	9	7/3	創作講談で知る源頼光/「大江山奇談酒呑童子」
4	5/29	源頼信と坂東	10	7/10	創作講談で知る源氏三代/「河内源氏三代記異聞」
5	6/5	前九年・後三年合戦と源頼義・義家	11	7/17	創作講談で知る源平と鎌倉/「三浦一族記異聞」
6	6/12	保元・平治の乱と河内源氏	12	7/31	歴史遺産の活かし方「市民と行政にできること」

③日本美術の流れ 絵画で見る美意識の変遷					大阪芸術大学提携講座	火曜日【2限目】 13:00~14:30
内容	奈良時代から江戸時代までに制作された絵画を中心に代表的な作品を取り上げて、各時代の美術の性格をわかりやすく述べ、日本の美意識がどのように表されているのかをたどって行きます。					
1	4/26	空海と最澄	7	6/14	江戸狩野と京狩野	
2	5/10	和歌・物語・やまと絵	8	6/21	琳派Ⅰ	
3	5/17	肖像画	9	6/28	琳派Ⅱ	
4	5/24	新宗教と祖師絵伝	10	7/5	18世紀の京都画壇	
5	5/31	水墨画と詩画軸	11	7/12	浮世絵版画	
6	6/7	洛中洛外図	12	7/19	京都御所の障壁画	

④大河ドラマ『真田丸』をもっと楽しむ!～真田幸村VS徳川家康					水曜日【1限目】 10:30~12:00
内容	今年のNHK大河ドラマ『真田丸』は大阪ゆかりの武将・真田幸村が主人公です。大坂の陣の悲劇の名将として特に人気があります。本講座は大河ドラマの時代背景を解説します。さらに、幸村を主人公の一人として描いた司馬遼太郎『城塞』や、池波正太郎『真田太平記』を教材として戦国の歴史を考えます。※第4講義の詳細は受講手続時にお知らせします。				
1	5/11	真田幸村は本当に名将か?	7	6/22	大坂夏の陣、幸村VS家康 その1
2	5/18	大坂冬の陣、幸村VS家康 その1	8	6/29	大坂夏の陣、幸村VS家康 その2
3	5/25	大坂冬の陣、幸村VS家康 その2	9	7/6	大坂の陣で家康死す?～大阪人の反骨心
4	6/1	現地講義：大坂の陣、幸村ゆかりの史跡をめぐる	10	7/13	大阪人に愛された幸村～判官鬨と、長いものに巻かれる日本人
5	6/8	真田家三代と信長、秀吉、家康～武田信玄を通じて	11	7/20	『真田太平記』にみる真田十勇士の伝説
6	6/15	家康はなぜ大坂の陣を起こしたか?～司馬遼太郎と山岡荘八	12	7/27	大坂の陣後の真田家～現代に続く名将伝説

⑤暮らしの中で考える医療と健康					太成学院大学提携講座	水曜日【2限目】 13:00~14:30
内容	ご家族が皆元気で健康に暮らしたいと願いつつも、慌ただしい日常生活の中でつい忘れがちとなる“心と身体の健康づくり”。地域社会や医療機関との関わり方も含めて、生活感にあふれた“健康づくり”を、一緒に考えて行きましょう。※第6・7講義の詳細は受講手続時にお知らせします。					
1	4/27	認知症高齢者と共に生きるために知っておきたいこと	7	6/15	現地講義：災害看護②HUGから学ぶ地域防災	
2	5/11	人生を豊かなものにするために-内観で自分と出会う-	8	6/22	骨をまもる-50歳過ぎたらコツコツ骨予防-	
3	5/18	セルフリンパマッサージ	9	6/29	薬と上手に付き合うために	
4	5/25	男性にもある更年期	10	7/6	安全な医療を受けるために	
5	6/1	知っておきたい今どきの子育て事情	11	7/13	元気な歯を守るために	
6	6/8	現地講義：災害看護①クロスワードから学ぶ～命を守るための選択	12	7/20	健康を維持するための運動習慣	

⑥-百舌鳥・古市古墳群をより深く知るための-世界遺産講座Ⅵ					水曜日【3限目】 15:00~16:30	
内容	世界遺産登録をめざす百舌鳥・古市古墳群をめぐって、世界遺産登録の現状、前方後円墳の意味、古墳の構造、古墳時代の文化や海外の世界遺産など、多彩な話題を取り上げ、百舌鳥・古市古墳群と世界遺産についての理解を深めていただく講座です。					
1	4/22(金)	世界遺産の現在	7	6/8	大王を支えた中小規模古墳の被葬者たち	
2	4/27	前方後円墳の誕生	8	6/15	古代のガラス器	
3	5/11	古市古墳群の成り立ち	9	6/23(木)	世界遺産 エジプトのピラミッド	
4	5/20(金)	大阪湾岸における倭王権の拠点と渡来人	10	6/27(月)	世界遺産 始皇帝陵の最新研究	
5	5/25	百舌鳥古墳群の成り立ち	11	7/6	古代の王権と水利開発	
6	6/3(金)	葺石研究最前線	12	7/13	応神天皇陵古墳の笠形木製品	

⑦世界の中の和文化					学長企画講座 土曜日【1限目】 10:30~12:00	
内容	食、酒、芸術、大衆文化、科学技術、自然とのかかわり方・・・さまざまな領域で「和」が世界的なブームとなっています。海外から来日する観光客も増える一方です。その理由、背景を、各界の専門家を招いて考察してみます。					
1	4/23	外国人留学生にとっての「和」	7	6/25	海外における地歌舞	
2	5/21	MANGAの力	8	7/2	外国人観光客の見る「和」	
3	5/28	電子楽器と日本の関係	9	7/9	海外に輸出される古典劇	
4	6/4	世界化する日本文学	10	7/16	海外で高値が付く、戦後日本の前衛美術	
5	6/11	乙女文楽のバリ公演	11	7/30	世界に誇れる日本料理	
6	6/18	なぜ日本の演劇は国際化しないのか	12	8/6	世界に広がる日本酒人気	

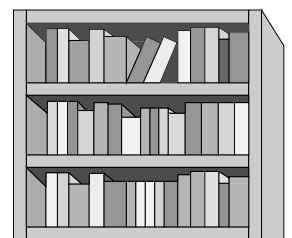
⑧世界の人々・文化・コミュニケーション					阪南大学提携講座 土曜日【2限目】 13:00~14:30	
内容	国家間、文化間、地域間、個人間のコミュニケーションの観点から、中国、イタリア、イギリス、アラブ諸国など世界中の様々な地域について、その歴史、文化、宗教、政治、言語、心理、教育などの抱える諸問題を織り交ぜながら丁寧に見ていきます。この講座を通して異なる文化、言語、宗教、教育、政治背景を持つ他者に対して理解することの重要性を伝えることができると願っております。					
1	4/23	ことばと意味と文化～英語と日本語の違い～	7	6/18	フィレンツェとメディチ家	
2	5/14	英国ヴィクトリア朝に生きた女性たち	8	6/25	アラブの春その後とIS	
3	5/21	英米文学：アイデアはどこから来るのか？	9	7/2	「顔」の心理とコミュニケーション	
4	5/28	グローバル化と学校現場	10	7/9	思考と行動の規範としての宗教と国際社会	
5	6/4	古代中国からみた倭国-謎の4世紀-	11	7/16	日本人は「無宗教」なのか	
6	6/11	人・時代・都市の創始者はどのように都市を創ったのか	12	7/30	人生を楽しむための留学講座	

⑨映画祭の楽しみ方					学長企画講座 土曜日【3限目】 15:00~16:30	
内容	世界各地、日本全国で、さまざまな映画祭が行われて話題となっています。それらの沿革、現状、課題、将来性について、関係者から話を聞き、かつて映画撮影所のあった街、羽曳野における映画祭開催の可能性を探ります。					
1	4/23	国内の映画祭	7	6/18	蒲田映画祭の企画・運営	
2	5/14	海外の映画祭	8	6/25	各地の映画祭で受賞した作品	
3	5/21	映画祭を開催してきた	9	7/2	極東映画(羽曳野市)と、古市白鳥園撮影所	
4	5/28	映画祭の目的 映画祭が出来るまで	10	7/9	宝塚映画祭が生まれるまで	
5	6/4	映画祭の舞台裏 俳優・監督・実行委員のこぼれ話	11	7/16	宝塚映画祭&山形映画祭	
6	6/11	神戸100年映画祭(昨年で閉幕)	12	7/30	映画祭を楽しむには	

学習情報室にお越しください。

場所：LIC はびきの2F 開室時間：9時30分～16時30分（祝日・年末年始は閉室）

- 受講生以外の方でもご利用いただけます。
- いろいろな講座や生涯学習のチラシ・パンフレットをご用意しております。
- 今年度と前年度の講座のDVDが視聴できます。
※一部視聴制限により、ご覧いただけないものがございます。
- 講座関連の資料を新しく閲覧できるようになりました。
講師の著書などをご覧いただけます。
- 博物館や美術館のチラシも拡充いたしました。
ぜひ、ご覧ください。



- 募集要項 -

場所と定員

講座①②③④⑤ } →LICはびきの内施設 各60人
⑥⑧⑨ }
講座⑦ →時とみどりの交流館(峰塚公園管理棟) 30人

※定員を超えた場合は、抽選を行います。定員に達していない講座は追加募集を行います。

対象

市内・市外を問わず、どなたでもお申し込みできます。
※介助(点訳)・託児(2歳児～就学前)が必要な方はその旨をお知らせください。それ以外はお相談ください。

日程

[募集締切]3月14日(月)必着。
[受講決定]3月25日(金)までに「はびきの市民大学受講の決定について(通知)」が届かない場合は、ご連絡ください。
[受講手続]受講料をそえて4月1日(金)～4月7日(木)の間にはびきの市民大学までお越しください。

受講料

各講座 6,000円
※一旦納付された受講料は返金できません。

申込方法

[インターネット]はびきの市民大学ウェブページ
[来館]官製はがきを持参の上、お越しください。
[往復はがき]必要事項(下記参照)を記入して投函してください。

表面

52 往信 〒583-0854 羽曳野市軽里1-1-1 LICはびきの内 はびきの市民大学 行	返信用ハガキ表面 返信用ハガキ裏面 印字しますので無記入 をお願いします。
---	--

裏面

52 返信 印字しますので無記入 をお願いします。	返信用ハガキ表面 返信用ハガキ裏面 ・氏名(フリガナ) ・性別 ・年齢 ・郵便番号 ・住所 ・電話(FAX)番号 ・希望講座(複数可) 介助が必要な方はその旨をご記入ください
------------------------------------	--

～お問い合わせ～

はびきの市民大学(業務受託者:株式会社みのりの里)
〒583-0854 羽曳野市軽里1-1-1 LICはびきの内
TEL 072-950-5503・FAX 072-950-5650
HP <http://www.city.habikino.lg.jp/lic/shimindaigaku/>
E-mail shimindaigaku@minorinosato.com

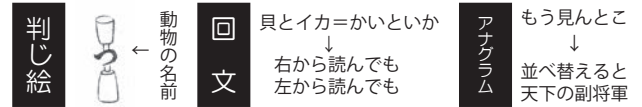
公開講座受講生募集

春休み子ども
公開講座

ことばで遊ぼう!

3月28日(月)10時30分～12時00分
場所 LICはびきの3F 視聴覚室
講師 大阪教育大学 教授 小野恭靖
定員 40人※先着締切
対象 小学4年生～中学生
申込 3月19日(土)締切。電話または来館。
受講料 300円(当日支払)
講座内容

日本語のことば遊びのうち、最初に「判じ絵」と呼ばれる絵で読む「しゃれ」のクイズについて学びます。そして、自分で絵を描いて「判じ絵」のクイズを出題します。その後、別の日本語のことば遊びである「回文」と「アナグラム」についても、それぞれがどのようなものか学びます。講義はクイズ形式で行う時間が多いので、楽しく脳をきたえる練習になります。昔から伝えられてきた日本語のことば遊びを学ぶことによって国語力やコミュニケーション能力を身につけましょう。



ボランティアさん募集中!

☆参加できる時間や曜日はお相談ください。
介助グループ
身体介助の必要な方や小さいお子さんをお持ちの方のために安心して市民大学を利用して頂けるよう、介助や託児を担当しています。

記録グループ

「はびきの市民大学」学生通信を年2回発行しています。講師や受講生へのインタビューも行います。

講座グループ

講座日に、講義の進行補助をしています。具体的には講義の準備・講義の撮影・資料配布・受講カードの回収等を行っています。

情報グループ

LICはびきの2階の学習情報室で、来訪者への対応パンフレットの整理などを担当しています。

土日にご参加いただける方! 急募!

学位認定制度のご紹介

はびきの市民大学では、既定の出席数と所定の課題を修めた場合、単位を認定しております。その単位数が24単位に達しますとはびきの市民大学学士として学位記を授与(学位授与式にて)しております。講座を受講して学習の記念として学位修得を目指してみませんか。

